

- 1 語りの装置—語りの定型化、分類、初めの句・結びの句、あいづち。
形式譚。
- 2 語りの座のこと—囲炉裏端、木小屋、語りが仕事の木地氏の家、産屋、風呂貰い、
通夜の晩。
- 3 百物語—江戸時代という時代（鎖国から地方話、そして妖怪話）
鬼、河童、山姥。
- 4 笑話が生まれる—大話、愚か者話、誇張譚、和尚と小僧。
滑稽者譚。
- 5 昔話の伝播—説教師、座頭、瞽女、祭文語り。
室町時代の下剋上、大道芸、地方への分散。
- 6 早物語—天保物語の成立は「平家語り」にあった。
「平家物語」、説経節、浄瑠璃語り、「義経記」そして早物語。

15 地藏浄土

むかしあったけど。

あるところに、おじいさんとおばあさんがあったど。

おじいさんが庭にお掃除に行ったときに、どこからともなく団子ころんできたど。そうすっど、

団子どの 団子どの

どこまでござる

て、おじいさん、追いかけて行ったわけよ。ほうすっど、

御山の堂まで 御山の堂まで

て行 (い) ぐわけだ。ほして、しばらく行って、また、

団子どの 団子どの

どこまでござる

ていうど、やっぱり、

御山の堂まで 御山の堂まで

ていうのだど。ほしてしばらく行くど、今度、小さな穴があって、その孔から 団子が転がって行った。そうすっど、おじいさんもそいつさ従いて行ったど。行ってみたば、お地藏さんがあった。ほしてお地藏さんの前に行ったれば、団子なくなってだもんだから、お地藏さんに、

「団子が転がって来ながつたが」

てお聞きしたら、

「いや、転がって来たげんども、ごちそうになったがら、そのお礼として、今晚ええことあつから、まず、手に上がれ」

「もったいないから、上がられない」

「ええから、ええがら」

ていうわけで、手に上がった。次に、

「肩さ上がれ」

そうすっど、肩も上げていただいて、今度、頭さ上がれていうわけ。

「もったいない、とにかく頭さなの、どんなことあつても、上がられない」

ていうたげんど、とうとう頭さ上がって、そうして、

「二階の上に、上がって待つてなさい」

と言わつて、

「そうすっど、今晚、鬼どもが集 (あつ) ばつて、博打 (ばくち) すつから、見てろ」

ていう。そうすっど、こんど、
「ええ加減したらば鶏の鳴き真似しろ、コケコッコーといいなさい」
そうすっど、鬼共は、
「一番鶏鳴いた」
少し経ったら、また「鶏の真似しなさい」ていうもので、それでまた鶏の真似して、そして三回目やったら、今度は鬼共は、
「夜明けっから大変だ。んだから、また明日にすんべ」
というわけで、散らばったお金、そのまま帰って行った。そうすっどお地蔵さまが、
「そのお金を全部持って行きなさい」
そんで頂いてきたわけ。ほうして今度あ、家さ帰ってきてお金ひろげていると、お隣のおじいさん、おばあさんが来て、そこを見て、
「どうしてこんなにお金もうがった」
そうすっど、そのことをみな聞かせたわけだ。と、
「ほんじゃ、家でもそういう風に、じさまをやらんなねえ」
ほして、団子拵って、ほして、その団子を押っつけ行ったら、やっぱり穴があったって。ほして、そっから団子を転ばしてやって、お地蔵さん立ってやったもんだから、
「食べろ」ても、
「食べたくない」
ていうな、無理無理口さ突っ込んで、手にのり、肩に上がり、頭に上がって、ほしてやっぱり待ってだって。ほうすっど、こんど、やっぱり言われた通りに、鶏の真似三回やって、そのうちに、鬼の方で、
「人くさい、人くさい」
て、始まったてよ。そしてとうとう人くさい、人くさいではあ、そのおじいさんが見つげられたわけよ。そうすっど、
「ゆうべのお金も、このおじいさんが持って行ったんだから」
て、さんざんにいじめられて、泣き泣き帰ってきたど。
ほうすっど、おばあさんが、血だら真赤になって、おじいさんが帰って来たもんだから、
「ずいぶん、ええ着物もらって、ほして喜んで歌うたって来た」
というて、おばあさん眺めて待っていたら、家に帰ってきたら、そうでながったど。
んだから、人の真似ざあするもんでないど。どーびん。

(佐沢・武田はる)

「昔話の伝承の実像」紹介資料リスト

(本館)→国立国会図書館東京本館所蔵
※→国立国会図書館東京本館にも所蔵

No.	書名	著者名	出版事項	請求記号
1	佐藤家の昔話	佐藤孝一〔述〕 武田正編	桜楓社 1982.8	YL31-58 ※
2	日本昔話の伝承構造	武田正著	名著出版 1992.5	KG745-E58 ※
3	昔話の伝承世界：その歴史的展開と伝播	武田正著	岩田書院 1996.3	KG745-G15 ※
4	昔話の語りと変容	武田正著	岩田書院 2001.9	KG745-G99 ※
5	さるとびつき (こどものとも：320号)	武田正再話 梶山俊夫画	福音館書店 1982.11	Z32-210
6	さるとびつき (こどものとも年中向き：通巻91号)	武田正再話 梶山俊夫画	福音館書店 1993.10	Z32-863
7	河童よ、出てこい	武田正文 梶山俊夫絵	福音館書店 1998.4	Y8-M99-35
8	日本近代文学大系 45 柳田国男集	柳田国男著	角川書店 1973	KH6-5 (本館)
9	図説日本の昔話	石井正己著	河出書房新社 2003.7	KG745-H13 ※
10	昔ばなしとは何か	小沢俊夫著	大和書房 1983.6	KE178-39 ※